

追跡レポート

あの質問 どうなった？

議員の質問・提言に答える町執行部、その答弁がその後どうなったのか？ どう町政に反映されたのか、対応を追跡しました。

●平成27年9月定例会● 一般質問
遠藤 浩 議員

防災備蓄品を整備し、防災機能を強化せよ

災害発生時に住民への支援を円滑に行うため、防災備蓄倉庫の整備、防災機能の強化に係る内容は、①非常食や飲料水、防災資機材等の備蓄計画はどうなっていますか。



想定避難者数に対する備蓄品を早期に完備

防災備蓄倉庫が完成次第、想定避難者数に対応する数量を早期に整備していきます。



防災備蓄倉庫が完成

平成28年8月31日に防災備蓄倉庫が完成しました。今後、築地ヶ丘体育館に仮置きしている備蓄品が倉庫内に移動されます。



一般質問席

6人の議員が町政を問う

一般質問は、公の場である議会で、議員が議題に関係なく、町長の考え方や町政の執行状況について説明を求めたり、所信を問いただすものです。

一般質問席（広野町議会議場）

二次救急医療機関を設置せよ

遠藤町長／平成30年度に富岡町で開院する

北郷 県が双葉郡内に24時間体制で、けがや急病で入院治療が必要となる患者に対応する二次救急医療機関を整備する方針を示していますが、設置場所、病床数、診療科などの現況はどのようになっていますか。また、早急に当町に設置し、医療の安全・安心を確保すべきと思いますが、町長の考えを伺います。

町長

県は、福島県立医科大学附属病院内に「ふたば救急総合医療支援センター」を設置し、双葉地方消防本部榎葉分署に、救急医師が待機し、救急通報要請に応じて現場で初期治療を実施しています。

また、富岡町王塚地区に（仮称）ふたば医療センター」を設置し、24時間3.65日体制で救急医療と外科・内科的疾患全般を対象とする総合診療を行い、病床数を30床として、平成30年4月を目途に開院します。設置場所は、交通アクセスや原子力発電所の被ばく事故への対応など、総合的に判断したものです。



救急専門医が常駐している榎葉分署

町民の声を行政に反映せよ

遠藤町長／ご意見を真摯に受けとめ対応

北郷 町民と町の方 向性を共有し、参加と協働による町づくりを進めることが重要ですが、①平成27年2月から「町長との懇談の日」を開催され、本年度から従来からあった「町民の声」の制度を統合して「町長への手紙」を実施していますが、現況はどのようになっていますか。②町民税の1%相当額の使いみちを町民が提案できる「町民予算提案事業制度」の現況はどのようになっていますか。③地方分権が進み、自主的な創意工夫が求められる、職員的能力開発が期待されています。今後の町民サービスの上りや業務の効率化を図り政策へ反映するためにも、「職員提案制度」の導入を図るべきではないですか。

町長

①現在、14通の手紙を受け付し、様々な意見や要望があり、町民の理解を得るべく真摯に対応します。②平成18年に要綱を制定し、平成22年度分まで募集し、その間の応募件数は1件です。平成23年度分以降は、除染及び復旧・復興事業等を最優先していることもあり募集は休止していますが、状況を見ながら再開を検討します。③平成26年5月には全職員に対し「町民帰還に向けた施策の提案」を求め、74人から企業誘致・雇用の場の確保、住宅整備の推進などの提案を頂いた経緯があります。

新たな町づくりに向け、職員の意識改革や組織の活性化などに効果が考えられるため導入を検討します。

北郷 幹夫 議員